



2020年2月14日発行

## 🐶 ありがとう!!

この「一生懸命」を手にしてくれた方に言いたい言葉です。「ありがとう!」

駅での僕は他の方達のように頭を下げません。「いい気」を出している方にこの「一生懸命」を渡したいので、「いい気」に集中しているのです。

そして、そういう方にしか、挨拶もしていません。

ホワイトボードには「おはようございまーす!」と書いてありますが、基本的には無言で立っています。長い時間立っていますが、最近は英語の勉強をしていたり、「あいみょん」の歌を聴いたりしながら駅立ちをしています。

駅立ちをするようになって、14年が経ちました。吉田よしのり師匠の駅立ちを見て学びながら、ひばりが丘北口に立った日のドキドキは今でも覚えています。師匠のようになろうと真似をしても、真似ができないところが随分ありました。

そのうちにあることに気がついたのです。本当にこの「一生懸命」を楽しみにしてくれている人がいるということに…。

新座市以外の西東京市、東久留米市、練馬区清瀬市の方にも「いつも読んでます」「楽しみにしています」と言ってくれる方が多くなってきました。これは大発見でした。やる気になりました。

そんな僕の駅立ちを楽しみにしてくださる方、急いでいるのに一緒に写真を撮ってくれる方、ハイタッチで元気をくれる方、ハグをしてくれたり差し入れをしてくれる教え子達、「ありがとう!」

朝5時過ぎには朝練に行く高校生達があります。昔の自分を見ているようで、「がんばれーっ!」と応援しながら、いつも逆にパワーを貰っています。本当にありがとう! 君たちが不安にならないような世の中を大人がつくっていかないとね。

少しでもそういう世の中になるように頑張ります。君たちに負けないように…頑張った先にいいことがあるように…僕らの親の世代は、僕らの為にそういう世の中にしてくれたから…。

いつも素敵な笑顔をありがとう! たかやん 🐶



教育は愛だ!

たかむらともや

たかやん

「たかやんの応援団」で 🔍 検索

担当責任者 / 新座市石神3-19-32-106 高橋ひとみ 印刷所 / 新座市新座1-7-17 コスモ企画

## たかやんのプロフィール

1954年、港区青山生まれ。本名 たかむらともや「超ワルがき」で「遊びの天才」と呼ばれていた。中一まで「劣等生」だったが、中二の時河合隆慶先生に会い、勉強をはじめ。同時にテニスでは「西戸山の天才」と呼ばれ、調子に乗る。🐶

都立石神井から北大へ。テニスしかしてなかった男が大学3年の冬、突然「教師」を目指しはじめ猛勉強し合格。新座五中・六中・二中で21年間担任を続け理科・数学・国語・英語・体育などの複数教科を教える。この「一生懸命」のバックナンバーはHPで全て見るができます。

安倍自民党政権と真っ向勝負しようとしている令和新選組の山本太郎を勝手に応援している。

今回の選挙が安倍自民党政権を倒すきっかけになることを期待して7つの駅、9か所で早朝の駅立ちを続けている。力をかけてください!! 🐶

## ③ 選挙に行く権利！！

子どもたちが誰でも「教育を受ける権利」があるのと同じように、18歳以上の人は誰でも政治に参加する権利、「投票する権利」があります。

高校や大学は「偏差値」や「成績」によって振り分けられます。仕事だってなかなかハードルが高い現実があります。しかし、選挙に関しては殆ど「無条件」で投票することができるのです。

182弾で「政治に無関心でいられても、政治と無関係ではいられない」と書きましたが、投票権を放棄しているから、いい加減な政治家達に「消費税」を筆り取られているのです。消費税の目的は社会保障の充実ではなく大企業減税です。だから、経団連はさらなる消費税の増税を要求しているのです。国の借金返済も大嘘です。

投票権を放棄しているから、いつの間にか大学に行くのに、子どもたちが何百万もの「借金」をしなくてはならない国になってしまったんです。

投票権を放棄しているから、「募る」という意味も知らない政治家が総理大臣になり、国会で嘘を言い続けられるのです。

これ以上、投票権を放棄していると、益々「不安定な雇用」が増えていきます。

これ以上、投票権を放棄していると、日本の経済は更に落ち込んで、税収が減っていきます。

少子高齢化は子どもたちにとってチャンスかも知れませんが、人不足だということは、大学にだって入りやすいし、就職だってし易い筈です。人不足だということは「高収入」も期待できる訳です。社会は人を求めているのですから…。でも、折角のチャンスに外国人労働者を際限なく受け入れていたら…子どもたちのチャンスや収入は減っていくでしょう。子どもの数が減っているのは、若い人に結婚するだけの収入がないからです。不安定な仕事の人が多いからです。

経団連は「日本型雇用を見直すべきだ」と盛んに言い始めました。大企業は儲けばかりを考えているのです。雇用が不安定になれば、結婚してローンを組んで家を買って、子どもたちを育てるという安定した未来がないということです。

これ以上、日本という国が「格差社会」にならないように、みんなで投票に行きましょう！

## ③ 学ぶ権利

1年生を受け持って一番最初に言うことは「君たちには学校に来なくてはいけない義務はないんだよ。学ぶ権利があるだけなんだ！」でした。

子どもたちは「義務教育」を間違えて習っていたのです。「だから、誰の権利も奪ってはいけないんだ」そうも言いました。

「学ぶ権利」の中には「学び方」も含まれていると僕は思っています。多くの子どもたちを見てきましたが、子どもたちによって「勉強法」は違っていいのです。

書いて書いて覚えるのが得意な子もいれば、何度も何度も口に出して言って覚えるのが得意な子もいます。最近はパソコンでエクセルを使うのは当たり前ですし、YouTubeの動画の中にはなかなか質の高い授業もあります。

「家庭学習ノート」を毎日提出させて、そのページ数で評価をするなどというのは時代遅れというか、意味のないことです。「勉強法」は子どもたちに任せればいいのです。子どもたちの脳が喜ぶ「勉強法」を色々紹介すればいいのに「勉強法」まで強制するから、子どもたちは伸びないのです。その結果、教師も生徒も「学校が疲れる」場所になってしまう訳で…勿体ないですよ。

これを読んでいる子どもたち、世の中には自分の脳を喜ばせる勉強法が必ずあるからね。早くそれを見つけて、学ぶことを楽しんでください。

読書も同じだよ。「朝読書」を新座で一番最初にはじめたのは僕のクラスかも知れませんが、本を読むことを強制したことなどありません。

子どもたちに伝えたのは、「本の楽しさ」だけです。どんな本がどれくらい楽しいかを子どもたちに伝えて、子どもたちからも時々教わっていました。この「一生懸命」でも時々面白い本を紹介するので、楽しみにしててください。

この1週間、この幻の議会報告「一生懸命」が最後にならないように、精一杯、そう「一生懸命」頑張りますので、もし見かけたら声を掛けてください。「たかやん！」と呼んでくれたら「あいよっ！」と言いますから…。

それでは、また駅で会えることを楽しみにしながら、「186弾！」を書けるように頑張ります！

